

平成29年度 中城村生活交通ネットワーク計画（案）
生活交通ネットワーク計画【地域内フィーダー系統確保維持事業】

（策定年月日）平成28年2月4日

（協議会名称）中城村地域公共交通協議会

0. 生活交通ネットワーク計画の名称

中城村生活交通ネットワーク計画 「護佐丸バス」 運行事業

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

現在の中城村の公共交通環境は、民間バス事業者による路線バスの運行及び主に村西側の台地地区の小中学生を対象とした通学バスの運行等、村民の移動手段の確保に向けた施策等を展開している。

しかし、これら公共交通の発達は十分でなく、特に路線バスは本村と村外を結ぶ路線として設定されており、村内における移動には不便な状況にある。特に傾斜度が高く地形的に分断されている村東側の平坦地区と西側の台地地区間を結ぶ路線の確保や、平坦地区の北浜・南浜地区、台地地区の登又・新垣・北上原地区などの公共交通空白地域における村内移動手段の確保、村内児童生徒の通学手段の確保が課題となっている。

このような状況やこれまでの調査等を踏まえ、「交通弱者が、便利で利用しやすい公共交通体系を構築し、健やかに暮らせる環境の創出」を目指すことを基本目標に、高齢者をはじめとする交通弱者の村内移動の円滑化及び路線バスとの接続による行動範囲の拡大と、平坦地区北端、南端、公共交通空白地域から通学する小中学生や近隣市町村へ通学する高校生の通学手段を担う中城村コミュニティバス「護佐丸バス」運行の確保・維持するため、本計画を策定する。

2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

（1）事業の目標

●平成29年度路線別日平均利用者数の目標

<目標> ○回数券発行による児童生徒・一般の利用促進

○利用者ニーズに即した路線設定による高校生・高齢者の利用促進

	伊集普天間線	久場琉大線	伊集回り線	久場回り線	合計
目標	8.7人/日	30.1人/日	27.6人/日	29.5人/日	96.0人/日

※H27年実績（9月～12月有償期間）の数値を維持

●年間利用者数の目標

<目標> ○平成27年の実績を維持する

単位：人/年

	伊集普天間線	久場琉大線	伊集回り線	久場回り線	合計
H29年度～ H31年度	1,800	6,100	6,800	7,200	21,900

※H29年度～H31年度：前年10月1日～当年9月30日

●利用者満足度の向上（H29～H31年度）

<目標> ○満足度5点満点中4.0点以上を目指す ※H26年度実績…3.7点

(2) 事業の効果

- 交通弱者の通院、買い物等の外出支援による生活水準の維持
- 近隣市町村の高校へ通う高校生の通学支援
- 公共交通ネットワークの充実に伴う地域、住民活動の活性化
- 村在住小中学生の通学支援

3. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者

(1) 運行系統の概要

ア 運行ルート

- ◇伊集普天間線…伊集～北浜～奥間（久場琉大線との乗継）～新垣～普天間りうぼう
- ◇久場琉大線…ひが皮膚科クリニック前～中小前～奥間（伊集普天間線との乗継）～琉大東口～琉大附属学校前～琉大北口～中部商業高校前^{※2 便目のみ}
- ◇伊集回り線…吉の浦会館～奥間*～北浜*～ハートライフクリニック*～琉大東口～琉大附属学校前^{※4・5 便目のみ}～琉大北口～新垣～普天間りうぼう～中城モール～中小前～吉の浦会館（*：5 便目では経由しない箇所）
- ◇久場回り線…吉の浦会館～中小前～中城モール～普天間りうぼう～新垣～琉大北口～琉大附属学校前^{※4・5 便目のみ}～琉大東口～ハートライフクリニック～北浜～奥間～役場前～吉の浦会館

※伊集回り線と久場回り線は、吉の浦会館を発着とする循環路線でほぼ同様のルートを逆回りする

イ 運行日・時間帯

- ◇伊集普天間線、久場琉大線
 - ・月曜～金曜の週 5 日（土日祝日、慰霊の日、12 月 31 日～1 月 3 日、学校長期休み期間は運休）
 - ・概ね午前 7 時～午前 8 時半、約 1 時間に 1 本、各 2 便
- ◇伊集回り線、久場回り線
 - ・月曜～金曜日の週 5 日（土日祝日、12 月 31 日～1 月 3 日は運休）
 - ・概ね午前 9 時～午後 6 時半、約 2 時間に 1 本、各 5 便

ウ 運賃

- 料金：小学生 50 円、中学生・65 歳以上・障がい者 100 円、一般 200 円
- ※6 才未満の幼児については、小学生以上の方と同乗の場合、小学生以上の方 1 人につき 1 人無料、2 人目からは小学生料金を徴収する。6 才未満の幼児 1 人で利用する場合は小学生料金を徴収する
- 回数券の発行（一般のみ割引あり(1 回あたり 150 円))

(2) 運行予定者

- 東陽バス株式会社

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表 1」を添付

4. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

(1) 費用の総額及び収支率 (単位：千円または%)

	H29 年度	H30 年度	H31 年度
経常経費(a)	22,035	21,945	21,945
経常収益(b)	2,511	2,492	2,496
経常損益(a-b)	19,524	19,453	19,449
収支率(b÷a×100)	11.4	11.4	11.4
国庫補助金内定申請額(c)	6,536	6,536	6,536
村負担額 (a-b-c)	12,988	12,917	12,913

(2) 負担者

●中城村

※なお、中城村から運行事業者への補助金額については、運行収入及び国庫補助金を運行経費から差し引いた差額分を負担することとしている

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表2」を添付

5. 補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称

●東陽バス株式会社

6. 補助を受けようとする手続きに係る利用状況等の継続的な測定方法【活性化法定協議会を補助対象事業者とする場合のみ】

該当なし

7. 別表4の補助事業の基準二に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要【地域間幹線系統のみ】

該当なし

8. 別表4の補助事業の基準ハに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」認めた市町村の一覧【地域間幹線系統のみ】

該当なし

9. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要【地域内フィーダー系統のみ】

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表5」を添付

10. 車両の取得に係る目的・必要性【車両減価償却費等国庫補助金を受けようとする場合のみ】

該当なし

11. 車両の取得に係る定量的な目標・効果【車両減価償却費等国庫補助金を受けようとする場合のみ】

該当なし

12. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者、要する費用の総額、負担者及びその負担額【車両減価償却費等国庫補助金を受けようとする場合のみ】

該当なし

13. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策）【**公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ**】

該当なし

14. 協議会の開催状況と主な議論

中城村地域公共交通協議会

●平成 25 年度

- ・ H25.7 月（第 1 回） 協議会設立、事業内容について協議
- ・ H25.10 月（第 2 回） 地域公共交通の課題・改善の方向性、「護佐丸バス」実証調査運行計画について協議
- ・ H26.2 月（第 3 回） 実証調査結果報告と生活交通ネットワーク計画策定に向けた協議
- ・ H26.3 月（第 4 回） 生活交通ネットワーク計画策定に向けた調査報告書のとりまとめ

●平成 26 年度

- ・ H26.9 月（第 1 回） 地域公共交通としてコミュニティバス「護佐丸バス」とデマンドタクシー「護佐丸タクシー」の運行について協議
- ・ H26.10 月（第 2 回） 「護佐丸バス」及び「護佐丸タクシー」の実証運行計画について協議、合意
- ・ H27.3 月（第 3 回） 実証運行結果報告と生活交通ネットワーク計画（案）について協議、合意

●平成 27 年度

- ・ H28.2 月（第 1 回） 平成 27 年実績報告と生活交通ネットワーク計画（案）について協議、合意

15. 利用者等の意見の反映

地域住民や利用者の意見については、下記方法で集約、整理し、計画や実証運行に反映させている。

- ①村内一周バスについての村民意向アンケート調査（H24 年度）
 - ・ 全世帯（6,547 世帯）配布、回収率約 11%
- ②施設利用者アンケート調査（H25 年度）
 - ・ 交通弱者の利用が多いと考えられる施設来訪者の、移動手段の実態把握と地域公共交通利用意向を把握するため実施。

調査実施施設	回収数
中城サンエー	直接聞き取り 1 日間 59 件
ハートライフ病院	直接聞き取り 1 日間 16 件
琉大病院	直接聞き取り 1 日間 10 件
老人福祉センター（3 クラブ）	3 クラブ活動へ訪問し聞き取り 39 件

- ③高校生アンケート調査（H25 年度）
 - ・ 近隣市町に所在する 3 高校（普天間・中部商業・西原）の村内在住高校生を対象に、移動手段の実態把握と地域公共交通利用意向を把握するため実施。回収率約 43%。
- ④実証調査運行利用者アンケート調査（H25 年度）
 - ・ 実験運行の利用実態と今後の利用意向を把握するため実施。
 - ・ 利用者乗車の際調査票を直接配布、郵送等で回収。回収率約 45%。
- ⑤地域懇談会等における高齢者デマンド利用意向アンケート調査（H26 年度）
 - ・ デマンド交通導入に向け、高齢者の利用意向を把握するため実施。
 - ・ 地域懇談会等に赴き、参加者へ直接配布・回収。回収数 142 件。

⑥実証運行利用者アンケート調査（H26年度）

・実証運行の利用実態、満足度等を把握するため実施。

アンケート種別	回収数
車内留置きビンゴ式アンケート調査	・「護佐丸バス」 …374件 ・「護佐丸タクシー」 …34件
「護佐丸バス」利用者意向調査	27件（回収率約24%）
「護佐丸タクシー」利用者意向調査	42件（回収率約51%）

⑦村内在住高校生意向調査（H26年度）

・村内在住高校生（無作為抽出300人）に対し、公共交通での通学実態及び「護佐丸バス」運賃の料金設定への意向を把握するため実施。

16. 協議会メンバーの構成員

内閣府	沖縄総合事務局運輸部企画室 室長
//	沖縄総合事務局運輸部陸上交通課 課長
//	沖縄総合事務局南部国道事務所 副所長
沖縄県	企画部交通政策課長
//	土木建築部中部土木事務所 所長
宜野湾警察署	交通課 課長
那覇バス株式会社	業務部長
東陽バス株式会社	路線企画室 室長
一般社団法人沖縄県バス協会	専務理事
合名会社共友タクシー	運行管理者
一般社団法人沖縄県ハイヤー・タクシー協会	教育指導委員長
有識者	琉球大学工学部環境建設工学科 助教
住民代表	中城村PTA 連合会長、自治会長会長、中城村老人クラブ連合会長、住民代表3名

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 中城村字当間 176 番地

(所 属) 中城村役場 企画課

(氏 名) 金城 勉

(電 話) (098) 895-2131

(e-mail) tutomu-k@vill.nakagusuku.lg.jp